



定価：本体 1,800円＋税
 四六判 246ページ
 ISBN978-4-909124-30-2 C3037

新刊
案内

対話を生み出す 授業ファシリテート入門 ～話し合いで深い学びを実現～

“主体的・対話的で深い学び”を実現するため、多くの授業で「話し合い」が取り入れられています。しかし、せっかく授業に取り入れた話し合いが活発にならない、特定の子どもしか発言しない、結局自分（先生）ばかりしゃべってしまう、といった悩みを抱えている先生が少なくありません。話し合いを通じた学習がうまくいくためには、子どもたち一人ひとりが「自分が主役だ」と思うことが大切です。本書は、子どもを信頼して、子どもを主役にするため、教師に求められるファシリテーターとしてのスタンス（哲学）と、それを実現するための技術を学びます。1～4章ではファシリテートの基本やファシリテーターの心得を、5～8章では実際に教室でどのようにファシリテートするのかを取り上げます。

- **片山 紀子** 京都教育大学教職大学院教授（1～4章、Q & A）
 専門は生徒指導、学級経営、アメリカの生徒懲戒制度
 主な研究テーマは体罰や生徒懲戒制度
- **若松 俊介** 京都教育大学附属桃山小学校教諭（5～8章、Q & A）
 「国語教師竹の会」事務局、「授業力&学級づくり研究会」会員
 「子どもが生きる」をテーマに研究・実践を積み重ねている

1章 ファシリテートの基本

- 1 教師に求められるファシリテート力
 (1) 深い学びに求められるのは、話し合ったり発表したりした、その先／(2) 経験にだけ頼っていてもうまくいかない
- 2 ファシリテーターに必要な覚悟
 (1) ファシリテートするのは不安？／(2) スタンスを整える
- 3 ファシリテートするための強い信念
- 4 ファシリテーターの役割
 (1) 解を見つけるのを手伝う／(2) 考えることを促す／(3) ワクワク感と感動を教室にもたらす
- 5 授業のフェーズで見る教師のファシリテート力
- 6 ファシリテートで子どもの認知を修正・拡大
- 7 クリアエンド型のファシリテート
 (1) 明確な答えを導くクリアエンド型／(2) クリアエンド型の収束のさせ方／(3) クリアエンド型はここに気をつける
- 8 オープンエンド型のファシリテート
- 9 子どもがファシリテートできるようになれば最高

2章 ファシリテーターの心得

- 1 表情を意識
 (1) 表情が怖いのはNG／(2) ほんわかした笑顔で
- 2 穏やかであることを意識
 (1) 穏やかにどっしりと／(2) 言葉も穏やかに
- 3 人間関係を意識
 (1) ファシリテーターとメンバーとの関係／(2) 集団を扱うための知や技

- 4 簡潔に正しく伝えることを意識
- 5 自己開示を意識
 (1) 先に自己開示する／(2) 豊かな表情で自己開示する／(3) 子どもにも自己開示を促す
- 6 場の空気を意識
 (1) 子どもの反応を読む／(2) 時にはスパッと変える
- 7 子どもが主体であることを意識
 (1) 質問やつぶやきを活かす／(2) 発言が不十分なら問い返す

3章 ファシリテートするためのスキル

- 1 参加の仕方を示す
 (1) 多様な発言を認めることを宣言する／(2) 授業の流れを示す／(3) グランドルールを示す
- 2 ファシリテーターの話し方
 (1) ポジティブに話す／(2) 距離感によって話す言葉を選ぶ／(3) うなずく時は発言や思考を妨げないように
- 3 ファシリテーターの目線
 (1) 目線は上げる／(2) 目線を止める／(3) 柔和な視線
- 4 ファシリテーターの発する声
 (1) 声は変えることができる／(2) 声は小さくてよい
- 5 ファシリテーターの話す分量
- 6 ファシリテーターの空間利用
- 7 時間の使い方
 (1) 時間が限られていることを意識／(2) 静かな時間帯と熱気のある時間帯が必要
- 8 板書の仕方

〈裏面に続く〉

9 準備とリハーサル

- (1) 練習しなければうまくならない／(2) 練習には時間をかける

4章 振り返り (省察)

1 振り返りとは

- (1) 振り返りの意味／(2) 新学習指導要領でも振り返りを重視

2 振り返り方

- (1) 振り返りは感想ではない／(2) 振り返り方はいろいろある

3 振り返りの促し方

- (1) 学んだことや気づいたことを整理して振り返る／(2) 学んだことだけでなく、よくわからないことも振り返る／(3) 他者から受けた影響を振り返る／(4) 教師が子どもの姿を理解するために振り返る

4 シングル・ループの振り返りとダブル・ループの振り返り

- (1) シングル・ループの振り返り／(2) ダブル・ループの振り返り

5 教師にも必要な振り返り

5章 ファシリテーターの仕事

1 ファシリテートの流れをつかむ

- (1) 子どもの思考過程に沿ったファシリテートの流れ／(2) やりたい授業をイメージする

2 問いを出す

- (1) 問いがあるから考える／(2) 問いは身近なところから／(3) 考えるきっかけになる問い／(4) 子どもたちからの問いを活かす

3 発散させる

- (1) 一人で発散する／(2) ペア・グループで発散する／(3) 全体で発散する／(4) 子どもの意見に価値付けする

4 収束する

- (1) 整理する／(2) まとめる

5 振り返る

- (1) なぜ振り返るのか／(2) 学習したことを振り返る／(3) 話し合いの在り方を振り返る

6章 事前の準備がファシリテートの鍵

1 教材研究で学習する「芯」を決める

- (1) ファシリテートには教材研究が不可欠／(2) 予想外のことを想定内に

2 ゴール (到達点) を決める

- (1) ゴールを決める過程が重要／(2) 子どもの現状に合ったゴールを決める

3 授業をイメージする

7章 授業で生きるファシリテートスキル

1 学習内容を自分たちのものにする

2 一人ひとりの考えが発散するように

- (1) 「わかっている」だけが挙手ではない／(2) 発言は身近なところから

3 学級全体で学ぶ

- (1) 伝えたいことを具体化する／(2) 意見と意見をつなげる、価値付けする／(3) お互いの考えのズレを活かす

4 次につながる終わり方

- (1) 次時の学習につなげる／(2) 生活につなげる

8章 板書に活かすファシリテートスキル

1 立場を明確にする

- (1) 意見の違いを認識する／(2) 意見の違いを尊重する

2 色マーカーをうまく使う

3 思考ツールを活用する

4 振り返りにつなげる

授業ファシリテートQ&A

ご注文は FAX: 048-711-1804 ジダイ社まで ※合計金額が5,000円に満たない場合、送料350円を申し受けます。
もしくは、出入りの書店にご注文をお願いいたします。

連絡先	学校名:	ご担当者:
	住所: 〒	
	TEL:	FAX:
	必要書類:	
番線印 (書店利用の場合)	注文冊数	IISBN978-4-909124-30-2 C3037 対話を生み出す 授業ファシリテート入門 著者: 片山 紀子・若松 俊介 冊 四六判並製 246ページ 本体1,800円